



担架で搬送訓練を行う緑ヶ丘地区の人たち

9/5 災害に備えて

「可児市防災の日」に、市内全域で防災訓練が行われ、1万5000人を超える市民が参加しました。

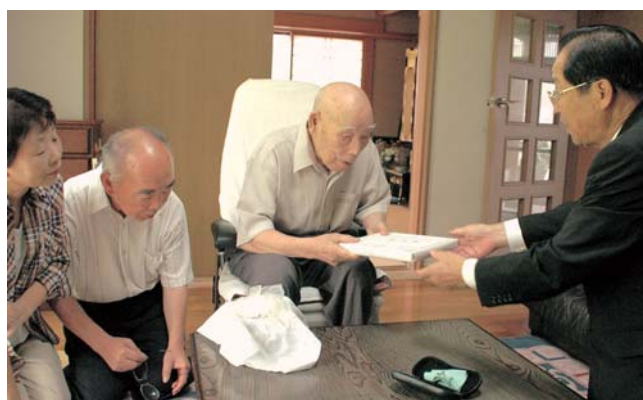
午前8時に地震発生を想定したサイレンが鳴り、訓練は始まりました。緑ヶ丘では、消火器を使った初期消火訓練や簡易トイレの組み立て、担架での搬送訓練が行われました。

参加者は、「家族で避難場所を確認しなければ」など、いつ起こるか分からない災害への意識を高めました。

9/6 ご長寿をお祝い

今年度中に百歳を迎えられる皆さんを、山田豊市長が訪問しました。対象となったお年寄りには市内に10人。この日は希望された6人を訪問しました。

訪問先で市長は「ご長寿おめでとうございます。お元気で何よりです。いつまでもお元気で」と声を掛け、記念品を手渡しました。訪問を受けた皆さんは、「忙しいところに来ていただいて、ありがとうございます」と笑顔で市長を迎えました。



山田市長から記念品を受け取る^{つばいせつよし} 緑ヶ丘の坪井節由さん



自分や友達の仕事に見入る親子連れ

9/11・12 夏休みの成果を展示

「児童生徒科学作品展」と「児童生徒社会科作品展」が福祉センターで行われました。この催しは、小中学生が主に夏休みを利用して取り組んだ研究成果や作品を展示するもので、各小中学校の校内審査で選ばれた353点が展示されました。

また、「可児・御嵩 発明創意くふう展」が同時開催され、会場は親子連れでにぎわいました。

9/18 道の駅「可児ッテ」がオープン

柿田地内に道の駅「可児ッテ」が完成し、開駅式が行われました。式では、来賓のあいさつに続いて太鼓の演奏やテープカットが行われ、道の駅「登録証」が国土交通省多治見砂防国道事務所の^{いまいかずゆき}今井一之所长から可児道の駅^{まつざわとおる}株の松澤徹社長に手渡されました。

この施設は、国道21号線を利用する人の休憩施設としてだけでなく、情報発信基地として、また地域住民が交流する場としての活用が期待されています。



登録証を受け取る松澤社長